



名前の由来は、似ているけど針があるし 似ているけど本物でないから

ニセアカシア (Robinia pseudoacacia 和名:ハリエンジュ針槐樹) マメ科ハリエンジュ属。北米原産の落葉高木。明治8年オーストリアの万国博覧会に出席した日本代表が種子を持ち帰り、砂防地や山の崩壊地止めに植えられたのが始まりで、今は全国の河川敷を中心に野生化している。初めはアカシアと呼んでいたが、後に、本来のアカシア(ネムノキ亜科アカシア属)の仲間が輸入されるようになり、区別するためにニセアカシアと呼ばれるようになった。生育がきわめて速く、瘠せ地でも育つこと、材が固くゆっくり燃焼し、多少湿っていても燃えるので、暖房・炊事・風呂の焚きつけ等、身近にあって人々の暮らしの役にたっていた。現在でも、薪炭材として用いられている。

富士見中学校のテニスコートの西側、フェンスに沿って大きな「針槐樹(はりえんじゅ)」が十数本立っている。「一般的にはニセアカシアとも呼ばれる」。目通りで、幹の直径が60〜70cmほどある。高さは20mほど。太く並んで立っているのは珍しい。学校が立て替えられたころ植えられたと思われる。新しい歴史とともに子どもたちを見守っている。

【樹木選定・評価
加々見一郎氏】

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

広告

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html> の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成25年12月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性/7,466人(-5) 女性/7,778人(+3) 合計/15,244人(-2) 世帯/5,829世帯(±0)
- ◆発行日 平成26年1月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷